

キラリ!サステナビリティ活動

中学生・高校生とのオンライン交流会を開催しました!

2021年3月、三井住友信託銀行佐賀支店・香港支店は「佐賀龍谷学園とのオンライン交流会」を開催しました。これは、SDGsをテーマに同校と佐賀支店が協働作成した絵はがきについて、香港支店社員との意見交換を通じて交流する企画です。

最初は双方とも緊張しながらも、生徒の英語スピーチを交えて熱心に説明する姿に香港支店社員も刺激を受け、活発なコミュニケーションが展開されました。前半は主に現地採用の社員がSDGsの取り組みについて、後半は日本から赴任している社員が海外勤務や生活について質疑応答しました。「学生時代に取り組むべきことは何か」との質問に対し、「何かに没頭できた者が社会に出て活躍できる」「夢中になれるものを探してみよう」とのアド

バイスをしました。その後、一人の生徒が触発され、新しいことにチャレンジを始めたとお聞きました。

香港支店社員からは、「コロナ禍で近年難しい海外勤務について、現地の情報を分かりやすく伝え、日本のグローバル化に貢献できたなら嬉しい」といった感想が寄せられました。

この交流会が、文化の違いやグローバル社会で働くことについて生徒が考え、将来の夢へ近づく第一歩になれば幸いです。



香港支店メンバーの交流会参加の様子



佐賀龍谷学園生徒の交流会参加の様子



SuMi TRUST With You

2021
With You
REPORT
vol.1

SPECIAL TOPIC

スペシャルトピック

数字が教えてくれる 「人生100年時代」の ライフデザイン

コロナ禍における意識・行動調査
～資産形成と社会貢献活動～

キラリ!サステナビリティ活動

中学生・高校生とのオンライン交流会を
開催しました!

ステイホーム おうちで楽しむ! 季節のレシピ

白だし仕立てのトマトのおひたし

ステイホーム おうちで楽しむ! 季節のレシピ



白だし仕立てのトマトのおひたし

白だしを使えば簡単にトマトのおひたしができます。蒸し暑い季節には、ひんやりとしたトマトのおひたしが美味しいですね。

材料(4人分)

トマト……………4個
しそ……………8枚
白だし……………50ml
水……………100ml

作り方

白だしと水をビニール袋にいれ混ぜ合わせ
る。湯向きしたトマトを袋に入れて、冷蔵庫で
2時間ほど寝かせる。皿にトマトを盛り付け、
だしをかけて、千切にしたしそをのせて完成。



詳しい作り方は EATPICK をご覧ください▶

メニュー提供: パナソニック株式会社 ※禁無断転載



表紙の
作品解説

次世代が描くSDGs

佐賀龍谷学園 龍谷中学校・高等学校 「未来を夢見る魚」

三井住友信託銀行佐賀支店では、2020年より学校法人佐賀龍谷学園龍谷中学校・高等学校と連携し、SDGsロビー展やESDプロジェクトなどの活動を相互にサポートしています。

同校では、SDGsをテーマにしたフェスティバルの校内開催や、SDGsに取り組む企業や団体を紹介する「SDGsアクションブックさが」の作成に関わるなど、SDGsを身近な課題として発信してきました。表紙の写真は、同校生徒が「未来の地球は、こんな綺麗な魚が泳げるような綺麗な海であって欲しい」という思いをSDGsのゴール17色の魚で表した作品で、より多くの人とSDGsへの思いを共有したいという願いが込められています。



佐賀支店は同校の作品を「SDGs絵はがきプロジェクト」として配布しています。



佐賀龍谷学園 龍谷中学校・高等学校 生徒作品「未来を夢見る魚」

当社のサステナビリティ活動はこちら▶

サステナビリティサイト



支店ブログ



数字が教えてくれる「人生100年時代」のライフデザイン コロナ禍における意識・行動調査 ～資産形成と社会貢献活動～

三井住友トラスト・資産のミライ研究所（以下、ミライ研）は、「人生100年時代」における安心・安全な資産の形成／活用を、中立的な立場で調査・研究する目的で三井住友信託銀行内に設置された組織です。

ミライ研では2020年度より、20歳～64歳の1万人への独自アンケート調査を実施しています。今号から4回にわたり、アンケート結果を基に皆さまのお役に立つ情報とより豊かな生活に向けたヒントをご提案します。



三井住友トラスト・
資産のミライ研究所 所長
丸岡 知夫

「新しい生活様式」の確立

「人生100年時代」という言葉は、私たちの生活の中ですっかり定着してきた感があります。

厚生労働省が公表している統計の1つに「最頻死亡年齢」があります。1年間の死亡者数が最も多かった年齢のことですが、2019年は男性が87歳、女性が93歳でした。この数字を見る限りでは、現在は「人生90年時代」といったところです。ただし、当然この年齢よりも長生きされる方々も沢山いらっしゃいますので、家計でライフプランニングを考える上では「人生100年」で計画していくのが相応しいと考えます。

昨年より新型コロナウイルス感染拡大という人類にとって大きな問題が発生しました。今も全世界で新しい生活様式確立のための取り組みが進められていますが、日本はこのコロナ禍で「オンライン社会への秒速転換」が進みました。今後も、さまざまなニューノーマルが築かれていくと思いますが、ここで「今、変化しつつある我々の生活行動」について考察をしてみましょう。

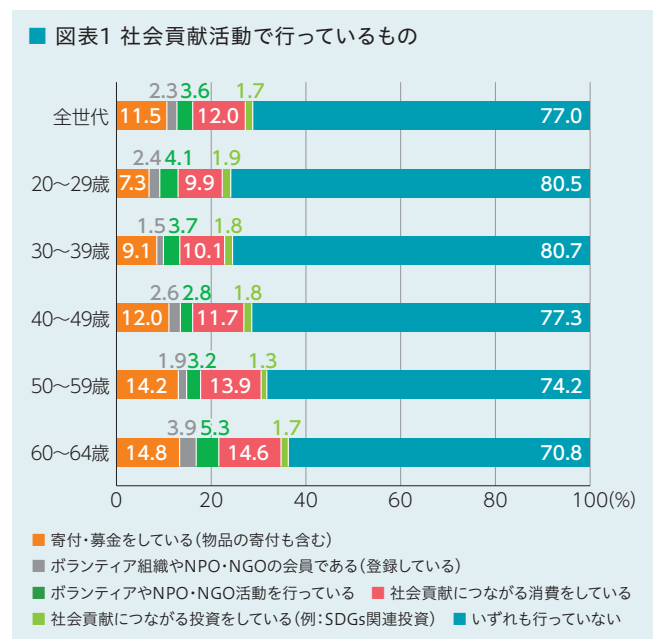
コロナ禍における社会貢献活動 に対する意識・行動調査

ミライ研の実施している独自アンケートは、家計における資産形成や生活行動についての意識と実態を伺う内容です。2021年3月に実施した第2回目の調査結果から、コ

ロナ禍における各家庭での意識や行動の特徴をよく表しているトピック「社会貢献活動」について紹介します。

今回、「社会貢献活動であなたがやっているもの（複数回答可）」を尋ねたところ、「何も行っていない」は全体の77%、社会貢献を行っている方の1位は「社会貢献につながる消費」、ほぼ同率の2位が「寄付、募金」であることがわかりました。

図表1で世代別の回答結果も見ましょう。若い世代の「社会貢献活動未実施」は8割ですが、世代が上がるにつれて減少し、60歳代は7割となり、3割の世帯が「何かしら取り組んでいる」ことがわかります。



1位となった取り組み「社会貢献活動につながる消費」には、フェアトレード商品（生産者から消費者に至るまで搾取などがなく公正＜フェア＞な取引であることが確認されている商品：衣料品やアクセサリ、コーヒー、バナナなどの商品が多い）の購入やフードロスの削減、地産地消、リユース／リサイクルなどを意識した買い物などが含まれます。近年、社会貢献への意識向上と合わせて「消費面での具体的な取り組み方」が世の中に浸透してきたことが背景の1つとして考えられます。

伝統的な社会貢献活動である「寄付・募金」は僅差で2位ですが、日本での寄付文化は着実に醸成されてきているようです。日本の個人による寄付額は、2010年から2016年にかけて2,882億円から7,756億円に、個人による寄付率も33.7%から45.4%に増加※しています。

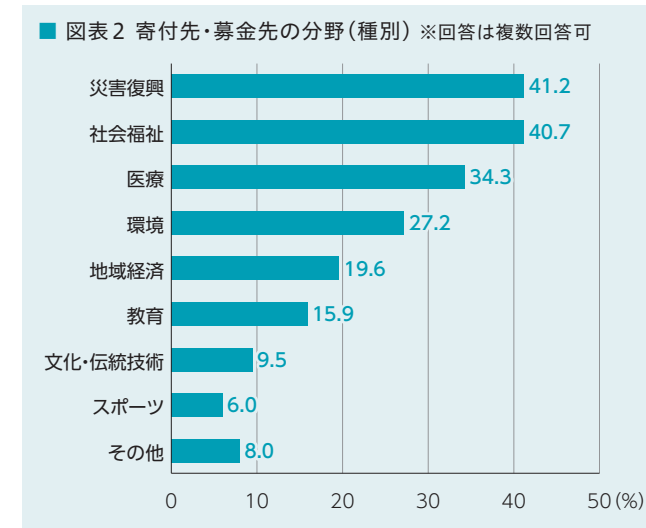
※出典：認定特定非営利活動法人 日本ファンドレイジング協会「寄付白書2017」

また、今回の調査では寄付先や募金先についても調査しています。図表2にある通り、1位は「災害復興」、ほぼ同率の2位が「社会福祉」、3位が「医療」となっています。ここ10年を振り返ると国内に限ってもいくつもの大きな災害が発生しており、こういった出来事に対する個人々の想いが社会貢献活動の浸透につながっていると考えられます。

一方、最近の寄付や募金をされた方に対する調べでは、「何に寄付・募金するか」も行動の判断基準になってきているようで、アンケート結果で「医療」が高順位である背景としてうなずけます。

今後、寄付する側、募金する側の「想い」は変化・多様化していくと考えられます。「オンライン社会への転換」と合わせて寄付方法も拡張・高度化され、「モバイルで簡単募金」などが実現し「スマート・ファンドレイジング（さっと

できる寄付・募金）」が家庭に定着していくものと思います。政府や自治体、金融機関などにおける社会課題の解決の1つとして「受付スキームの高度化」への取り組みが一層望まれるところです。



人のためならもっと頑張れる

「人生100年時代」の浸透にあわせて、シニアライフを生き生きと過ごすための「資産形成」の重要性が広く認識されてきていますが、形成した資産をどう活用していくか、も大きなことです。「資産活用」というと安全・安心な生活の費用に充てるイメージがあると思いますが、ご自身のためだけでなく、他の生活者の方々や次世代のために「活用」することも含まれると思います。日々の生活の中で社会貢献活動に参加する、また、活動している方々を応援する、これを資産形成の目的の1つに加えていただくことで「よりスマートな資産形成」につながるのではないのでしょうか。

～「自分のために頑張る、しかし、人のためならもっと頑張れる」

コラム＆動画のご案内！

「新型コロナショックは資産形成に逆風？それとも追い風？」

新型コロナウイルスの感染拡大で私たちの生活は一変しました。資産形成や金融行動でも「密回避」でオンラインでのセミナーや相談などが一般化。給付金10万円は家計口座に積んだままという方も多かったかもしれません。コロナショックが家計行動や、とりわけ資産形成にどんな影響を与えたのかを考察しました。

続きはミライ研Webサイトをご覧ください。

コラム

第22回以降



ショート動画

第5回以降



今後の
連載予定

数字が教えてくれる「人生100年時代」のライフデザイン

① コロナ禍における意識・
行動調査
～資産形成と社会貢献活動～

② コロナで変わった
「おうち時間」
～今こそ自宅で資産形成～

③ オンライン社会への急転換
～「デジタル払い」
使う？使わない？～

④ 資産継承のバトンリレー
～親子のコミュニケーションの
変化と「令和の贈与」～